

# 令和4年度グリーンスローモビリティ実証運行の結果について

杉並区区制施行 90 周年記念冠事業として、荻窪駅南側エリアにおいてグリーンスローモビリティ（以下、グリスロとする）による移動サービスの実証運行を行いました。

## 1. 実証運行の実施概要

- ・ 実証運行の運行ルートは荻窪駅西口を始発、終点とする1周約 2.9km で行いました（図1）。
- ・ 実施期間は、令和4年 11 月 3 日（木）～13 日（水）の11日間。

表 1 実施概要

項目	内容
実施期間	令和4年11月3日(木)～13日(水)
運行時間	1日10便 9:40～12:10、13:40～16:10
運行ルート	荻窪駅西口を始発、終点とするルート 1周約2.9km 【停留所】 ①荻窪駅西口、②大田黒公園、③(仮称)荻外荘公園、④荻窪地域区民センター、⑤区立桃井第二小学校(降車のみ)
利用車両	YAMAHA AR-07
利用料金	無料
予約	予約不要。空席があれば乗車可能
乗車定員	5名(運転席を含み7名まで乗車可能)



図 1 運行ルート



写真 1 利用車両

## 2. 実験結果

### (1) 利用者数

- ・ 実証運行期間中の利用者は延べ 566 名でした。
- ・ 1 日当たりの利用者数は全体では 51.5 名。平休別にみますと、平日と比較して休日が 55.8 名と多くっており、特に子供が多くなっています。祝休日には平日より家族連れの利用が多い傾向にありました。
- ・ 乗車希望が多い時間帯では、停留所で待っていても乗車することができない人もいました。

表 2 利用者数

平休	利用者数			(単位:人)	
	大人	子供	合計	利用者数	1日当たり
平日(6日間)	268	19	287		47.8
祝休日(5日間)	228	51	279		55.8
合計(11日間)	496	70	566		51.5



写真 2 実証運行実施状況



### ■ココシル荻窪を活用

- ・スタンプラリー
- ・大田黒公園音声ガイド
- ・ARカメラ(大田黒公園)
- ・グリーンスローモビリティの位置情報



## (2) アンケート調査結果

- ・ 実証期間中、計 265 人（約 46%）の方からアンケート調査に協力を頂きました。（図 2）その結果、杉並区の居住者が約 76%、うち荻窪地域の居住者が約 58%を占めていました（図 3）。
- ・ **グリスロの乗り心地**については、「開放的でワクワクして楽しかった」が最も多く、次いで「ゆっくり走っており、景色が楽しめた」、「乗り心地が良かった」との意見をいただきました。（図 4）
- ・ **今後の利用目的**は、「荻窪のまちを巡りたい」が最も多く、次いで「公園や三庭園へ行くための利用」が多くなっていました。また、荻窪地域の方の回答では、「買い物に利用」への需要も見られました。（図 5）
- ・ **今後、グリスロに一番期待すること**については、「運行頻度（便数）を増やしてほしい」、「今回のグリスロが今後も走ってほしい」「乗車人数を増やしてほしい」などの意見が多くありました。（図 6）

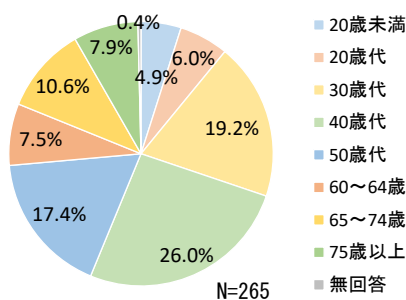


図 2 回答者の年齢

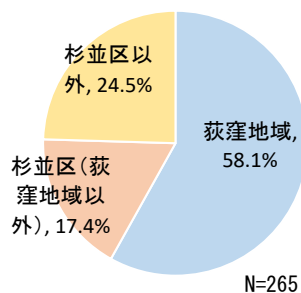


図 3 回答者居住地

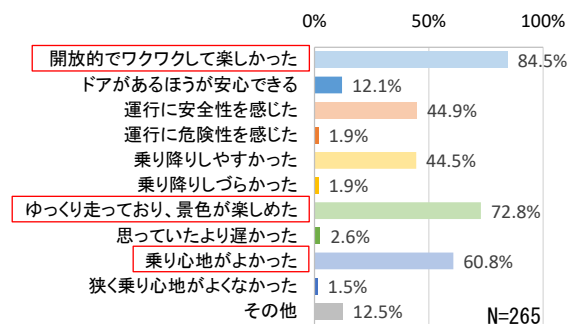


図 4 グリスロの乗り心地

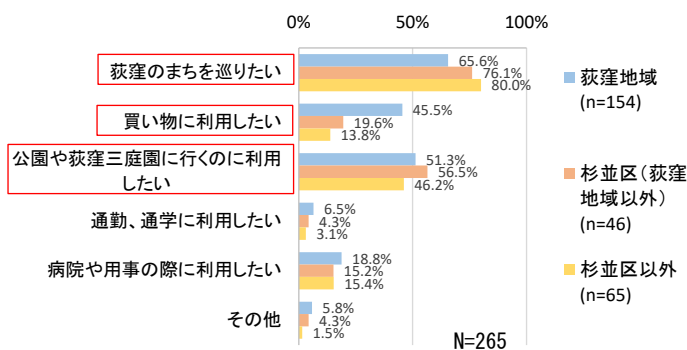


図 5 今後の利用目的

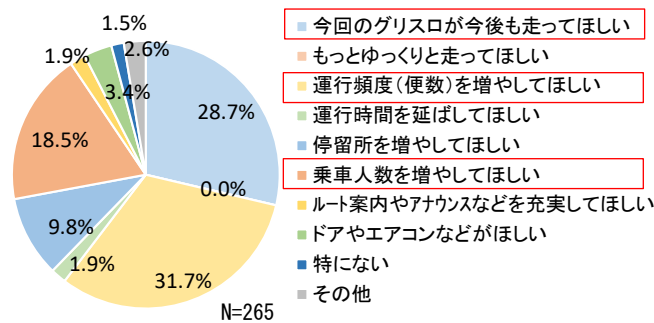


図 6 今後、グリスロに一番期待すること

## (3) 関係者ヒアリング調査結果

- ・ 実証運行について、表 3 に示す関係者にヒアリング調査（一部は質問用紙に回答を記入頂いた）を実施しました。
- ・ 関係者からは、「気軽に乗れて楽しい雰囲気になった」、「乗って楽しい、見て楽しい」、「地域の人たちにとって関心事であったと思われる」、「高齢者の買い物、通院などの足となる」などのご意見を頂きました。
- ・ 一方で、「ドアがないために荷物が落ちないか不安」、「順番待ちで乗れなかった。定員が少ないので乗りたいときに載れないのではないか」、「低速走行車両であることから後続車両に対して交通流の阻害が心配」などの意見も頂きました。

表 3 回答頂いた関係者

関東バス	運転士
	運行管理者
停留所関係	荻窪地域区民センター(地域課)
	大田黒公園(指定管理者)
	桃井第二小学校(学校関係者)
自治会	荻窪中央町会
	都営荻窪二丁目アパート自治会
	荻窪川南町会
	荻窪東町会
	西荻窪町会
	都営自治会一丁目アパート自治会
商店会	荻窪南口仲通商店会

## (4) まとめ

上記の結果、利用者数や利用者のアンケートからグリスロへの需要が一定数あり、今後の期待も高いと推察されます。一方で、荒天時の運行や安全性、有料化による利用者需要など検証事項は残されています。

## 3. 令和 5 年度以降の予定

- ・ 令和 5 年度には、車両導入及び運行事業者選定を実施し、本運行を目指した運行計画を策定する予定です。
- ・ 令和 6 年度には、今回の課題を検証（有料の実証運行等）し、12 月までに本運行を実施します。